

2016年12月6日(火曜日)の**日刊食品通信**に 弊社の**ハンガーゼロ自販機**について紹介されました!

日刊食品通信 平成 28 年 12 月 6 日 (火)

ハンガーゼロ自販機、100台目を設置

(大阪) 日本国際飢餓対策機構が取り組むハンガーゼロ支援自動販売機は5日、100台目がキリンビバレッジにより、兵庫県宝塚市の宝塚栄光協

会に設置された。キリン機としては83台、うち近畿では41台の設置となった。

ハンガーゼロ支援自販機は、同機構が2011年から始めた取り組みで、自販機売上の一部が飢餓に苦しむ国々への国際協力の活動に活用される。13年にパン・アキモトとキリンビバレッジが取り組みに参画し、寄付機能に加えて緊急災害時の備蓄用として3年間の長期保存ができるパンの缶詰とボルヴィックを設置先に提供している。備蓄は1年の賞味期限を残して2年ごとにキリンBVが無償で入れ替えを行い、設置者が希望すれば消費されなかったパンの缶詰は同機構を通じて食料支援に、水ボトルはFUKUSHIMA いのちの水プロジェクトを通じて福島第一原発事故の被災者支援活動に寄贈される。備蓄提供以降設置台数が伸びており、去年は1年間で約9万2,000食分を支援できた。「若い人や家族で、飲み物を買うという日常のなかで寄付や他地域に目を向けるきっかけとなれば」(キリンビバレッジ)としており、今後学校や公共施設での設置にも注力していく。

今回、宝塚栄光教会がハンガーゼロの取り組みに賛同し、100台目となる支援自販機を設置した。寄付機能のみの設置となる。「教会の人も、道行く人も、自販機で買うことで社会貢献している意識を持ってもらえれば」(岩間 洋牧師)。また、パンの缶詰を製造するパン・アキモトは自販機以外にも飢餓対策支援や被災地支援活動として、これまでに25万缶を寄付している。

